初山別村

2021
令和3年9月

農業委員会だより

江端家、100年目指し

新規就農者にエールを!!

歸山敏亮・菜奈さん

伊藤　楽さん

今年、就農研修中の２組３名の方を紹介します。

歸山（かえりやま）敏亮さん（２５歳）菜奈さん（２５歳）

敏亮さんは、知内中学、酪農学園大学を卒業し、留萌農業改良普及センターに勤務。農業現場に触れる中で「㈱錦秋の経営方針に感銘し、この会社に骨を埋めたい。」と、この春から研修を始めました。

「この夏のハウス作業は、４０度を超えて大変だった。」

抱負は「秋山さんと一緒に経営規模を拡大し、２００ｈａ目指します。」と力強く話す。

妻の菜奈さんは、東京で農業高校、酪農学園大学を卒業し、酪農商社に勤務。敏亮さんの決断には「迷うことなく背中を押した。」と話す。「機械の操作を覚えるのが大変です。」と話すと、敏亮さんから「最近は、ロータリーを一人で乗りこなしてる。」とすかさずフォロー。連携十分なところを見せていました。

㈱錦秋（代表秋山哲也）は、「息子たちと一緒に、１０年後に会社の３本柱になることを期待している。」と話す。

伊藤楽（がく）さん１９歳。札幌市出身で遠別農業高校をこの春卒業。㈱アグリファームはせがわ（代表長谷川裕昭）で研修中。「父の実家で小さい頃に手伝いをしていた。高校で学ぶうちに農業にさらなる魅力を感じ、この道を選んだ。」

現在は、祖父の伊藤信夫さん宅から有明の圃場まで通う日々を送っています。

紹介した以外にも今年度、村では次の方が就農しました。

○中佐聡洋さん・４５歳
㈱農愛心に就農。
○髙木俊和さん・４５歳
字有明・親元就農
○三角京平さん・２８歳
字初山別・親元就農

村の明日に希望の光！

農業委員会一口メモ

① 農業委員会は、初山別村の農業者を代表する機関です。

② 農業委員会は、行政委員会であり、合議制の意志決定機関です。

③ 農業委員会は、初山別村に対し農地等利用最適推進施策の改善についての具体的意見を提出しなければなりません。

④ 農業委員会の事務所の設置、予算上の計上・執行等は、村長が統括します。ただし、事務執行については、村長の指揮監督は受けません。～農業委員会法による。

⑤「全国農地ナビ」～インターネットで検索すると、全国の農地を見ることができます。

☆　農地の転用には許可が必要です　☆

産業貢献賞贈呈式

北海道産業貢献賞（農業関係功労者）の贈呈式が役場で行われ宇野稔弘留萌振興局長から、立田幸男農業委員会長に手渡されました。

立田会長は、平成８年以来、２５年間に渡り委員、会長として遊休農地の発生を防ぎ、農地を次世代に繋いできました。

また、令和２年には、農地等最適化推進に関する意見書を村長に提出するなど農業経営の基盤強化に努めてきました。

「農業者の協力を得ながら、地域のためにできうる限り頑張りたい。」と喜びを語りました。

立田幸男会長

優良林業グループ表彰伝達式

明里林業グループ（会長木下善一）がこの度、北海道林業グループ協議会創立記念「優良業グループ表彰」を受け、松弥留萌振興局森林室長から伝されました。

明里林業グループは平成７に結成され、学校林の歩道整や植樹祭の指導など地域活動貢献してきました。

平成１０年にはグループで習林を取得し、植樹祭を開催森林・林業の普及啓発活動を践してきました。

「豊かな森林は豊かな海を育む」と言われ、浄化された水を供給するなど、私たちの生活に利益をもたらす機能（公益的機能）があります。

今後の活動に期待します。

木下会長・野村事務局長

農業みらい開拓事業

子を持つ農業女子を主なメンバーとして、食育や農業の魅力ＰＲ等をメインに活動します。

春から活動する予定でしたが子どもたちが一堂に集まることが難しいため、各家庭で村の美味しい牛乳を利用する事業を進めます。

情報発信では、地域おこし協力隊に撮影を依頼し、フェイスブックやユーチューブで農業の魅力を発信していきます。

今後、農業現場の撮影に伺いますのでご協力願います。

つなごやで１４名が打合せ

ジャガイモ土寄せ

夏空の晴天のもと「農校」が開かれ３組７名の子がジャガイモの「土寄せ」に汗を流しました。

中山間集落代表岩井明彦さんのあいさつの後、農業改良普及センター川口康弘係長から栽培方法について説明を受けました。

子どもたちは、ジャンで自分の区画を決めて「大きくなあれ」と土をせていました。

作業見学ではあっという間に、畝が立つ様子を見て「機械って凄いね。」と話していました。

見守る「日角将崇君」

表紙から

有明地区で3代続く江端健一さん（農業委員会職務代理者）の後継者、直哉さん（23歳）妻萌さん（22歳）、長女虹春（こはる2歳）さん、次女月紬（つむぎ6か月）さんです。

家族経営協定書

4月には、立田会長署名のもと「健一・由佳里・直哉・萌」さん4名による家族経営協定を結びました。

○協定のスローガン

夢を持ち、やりがいのある農業へのチャレンジ、家族が協力しあってゆとりと生きがいを持てる江端家が100年続くことを目指す。

◇江端家は、父勝雄さん（84歳）が農業を始めてから57年になります。

◇家族経営協定とは～経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件についてみんなで話し合いながら取り決めます。

農業者年金

健一さんは、農業者年金協議会副会長でもあり、妻の由佳里さん・直哉さん・萌さんの3名が新たに加入し、直哉さんは、政策支援を受けました。

父・勝雄さんは、健一さんに経営を引き継ぎ、経営移譲年金を受給しています。将来、健一さんが直哉さんに、経営を引き継いだ時には、特例付加年金を受け取れます。

○政策支援～認定農業者で青色申告者等の要件があり、保険料の半分を国が助成します。

農業者年金一口メモ

① 月額2万円を40年間納付（試算）～掛け金の総額は、960万円で、受給額は約1500万円。（20年間受給した場合、約1．6倍）

② 家族経営協定を結んだ後継者・配偶者などは、国の支援を受けられます。 月額2万円が50%オフ。掛け金は、744万円となり、受給額は約1，500万円（約2倍）になります。

③ 課税所得195万円の場合、毎年15万円の節税。40年間で600万円の節税になります。

□ 農地の賃貸料情報について □

「賃貸料情報」とは、契約された年ごとの賃貸料について平均額を算出したものです。

（単位：円）

地区名	令和1～3年平均		最高額/R3		最低額/R3	
	水田	畑	水田	畑	水田	畑
有明・栄	8,500	1,500	10,000	1,500	5,000	1,500
初山別・千代田	9,300	－	10,000	－	5,000	－
豊岬・明里	9,900	2,500	12,000	2,500	7,000	2,500
共成・大沢	8,800	1,800	10,000	3,000	7,000	1,000
村平均	9,125	1,933				

集計に用いた件数で平均価格を算出しており、価格は100円未満切り捨てとしています。

賃貸契約が1件も無かった場合は、「－」を記入しています。

本村においては、データ数が少ないため毎年平均単価の変動幅が大きくなる傾向があります。

※賃貸料金は、この情報を参考に、双方が合意の上で決めて下さい。

〒078-4492　北海道初山別村字初山別96番地1
TEL0164-67-2211 fax67-2298